



さくらおか

【学校目標】
 徳・知・体のバランスのとれた
 質の高い桜っ子の育成
 【めざす子ども像】
 やさしい子・かしこい子・たくましい子

平成29年
 4月22日
 3号
 文責：校長

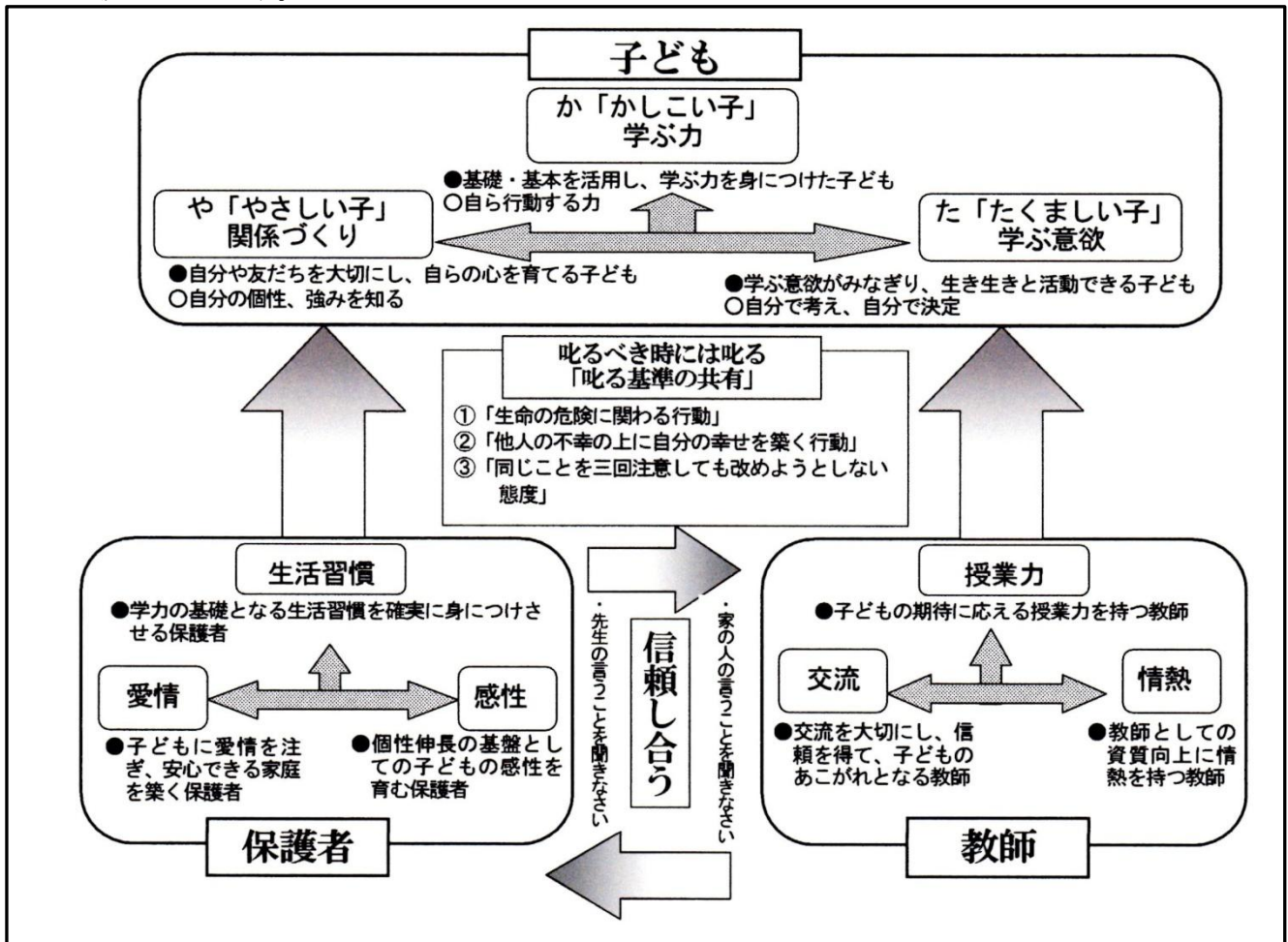
平成29年度 学校運営について (PTA 総会資料)

1 学校経営の基本 (子ども・保護者・教師)

これからの時代を生き抜く力を子どもたちに育てていくため必要なことは、「自分力」であると考えます。「自分力」というものは、自分の強み(得意なこと)やよさを知る力や自分で考え、自分で決めていく力、自分から積極的に行動する力のことです。この自分力を育てるために、桜岡小学校としては「人と関わるコミュニケーション力」を培いながら、よりよい人間関係を作り出し、一人一人の子ども達の意欲を高めていきたいと考えています。子ども達が自分で自分の人生を選んでいくためには、それを支える心を育てなければなりません。子どもたち自身が自分で考え、感じることをよりどころとして人生を選択させていかなければなりません。そのためには「自分が自分であって大丈夫だ」という自己肯定感をもち、「自分は役に立ち、自分は必要な人間だ」という自己有用感を高め、持続させることが、様々なことに意欲をもちたくましく生きることにつながると考えます。

子どもたちの人間関係構成力の育成には、学校教育のすべてが担うものです。本校では職員が「や」「か」「た」でプロジェクトチームを組み、合言葉を「凡事徹底」として各種教育活動の充実に取り組んでいきたいと思ひます。

これからの時代を生き抜く子どもたちに「自分力」をつけるために、誰にでもある「やる気エンジン」を活発化させていきたいと思ひます。まず、「やる気エンジン」を活発化させるのに必要なのは「自分できなえたい夢をもつこと」「プラス言葉で前向きな考え」だと、考えています。ご家庭や地域のご協力をお願いいたします。



- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 佐賀県教育基本方針
- 小城市学校教育の基
本方針
- 新学習指導要領
- 21世紀型能力

【 学校教育目標 】
徳・知・体のバランスのとれた質の高い桜っ子の育成
 桜岡の「や」「か」「た」づくり

- 地域密着型の学校づくり
- ・幼保小中連携
 - ・教育活動の公開
 - ・地域行事への参加
 - ・地域との交流

【めざす児童像】

「や」 「か」 「た」
 ○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子

＜ 学校教育 重点目標 ＞

- 1 やさしい・豊かな心の育成**
 - ・笑顔であいさつ
 - ・読書（目標120冊）
 - ・互いのよさを認め合う
- 2 かしこい・基礎学力の向上**
 - ・分かる楽しい授業実践
 - ・個に応じた学習の工夫
 - ・自主的な学習
- 3 たくましい・心身の育成**
 - ・外遊びの奨励
 - ・自主性を育む指導の工夫
 - ・基本的な生活習慣の確立

家庭では
「親子で交わそう、朝のあいさつ！」

- ・基本的習慣（早ね・早起き・朝ごはん）（家庭学習）
- ・何でも話せる家庭の雰囲気
- ・学校との連絡・PTA活動への参画

地域では
「みんなで育てよう、桜っ子」

- ・日常の子どもたちへのあいさつ
- ・近所づきあいと地域行事への参画
- ・学校との連携

【めざす学校像】

○子どもにとって、魅力的で学ぶ喜びが実感できる学校 ○保護者・地域にとって、信頼できる学校 ○職員にとって、生きがいのある学校

【めざす教職員像】

- 明るく情熱と使命感をもち、感謝の気持ちに満ちた教職員
- 常に自己研鑽に努め、子どもたちと共に向上する教職員
- 交流を大切にし、地域や保護者から信頼される教職員
- 和と連携を大切に協働できる教職員

【 桜っ子の合言葉 】 **＜凡事徹底＞**
あいさつ ・ 読書 ・ 仲間の力

教育活動推進における4つの重点 ＜凡事徹底＞			
やさしい 豊かな心の育成	かしこい 基礎学力の向上と自己学習力の育成	たくましい 心身の育成	安心して楽しく過ごせる 学校環境づくり
①あいさつ一番・笑顔も一番 笑顔で挨拶、親子で挨拶、毎週月曜日の「あいさつ運動」 ②読書 図書室に行く時間の確保と目標120冊 「えほん大好き」による読み語り ③互いのよさや気持ちを認め合う風土（仲間の力）づくり 「心を考える日」「人権集会」	①わかる授業、力をつける「桜っ子タイム」「すいすいタイム」 ②「背・目・手」による聞く・話す態度 ③家庭学習の習慣化 ・低学年30分 ・中学年45分 ・高学年60分以上	①外遊びと異学年交流 「わくわくタイム」「マラソン週間」「長縄とび大会」 ②早寝・早起き・しっかり朝ごはん（健康教育と食育） 性教育の実践 ③自主性や「仲間の力」を育む場の工夫	①保護者や地域との協力体制づくり 「学校・地域子どもセーフティネット会議」 ②困っている子どもの気持ちに寄り添う「教育相談」「ケース会議」 ③幼保小中連携、学びの環境づくり、子どもの出番づくり、「や・か・たプロジェクトチーム」